

くじ引きの方法

落札者（落札候補者）が2者以上同額となった場合の「くじ」による落札者の決定は、以下のとおり行う。

1 入札（見積）書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札（見積）書の「くじ番号」欄に、入札（見積）書提出時にあらかじめ任意の3桁の数字「000～999」を記入する。（全ての桁に記入が必要）

なお、1文字でも記入のない場合や1文字でも判別できない数字がある場合などは、質疑書の提出順の下1桁を連続した3桁として取扱う。

注) くじ番号の取扱い例

質疑書の提出順	記入されたくじ番号			くじ番号が判別できる場合	1文字でも記入のない場合又は1文字でも判別できない場合
1	8	7	5	875	111
3	2	6	9	269	333
2	1	1	9	119	222
6	4	0	0	400	666

2 くじの手順

① 同額入札（見積）者の質疑書の提出順に0から始まる「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。

※質疑書の提出順については、当組合にFAXにて提出のあった質疑書に記載されている通信時間（FAX送信年月日及び受信時間）等を基準として決定する。

② 同額となった入札（見積）書に記入された「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札（見積）者の数で除し、「余り」を算出する。

③ 上記①の「抽選番号」と上記②の「余り」が一致した者を落札者（落札候補者）とする。

4者が同額入札（見積）を行った場合のくじ手順（例）

① 「抽選番号」を付与する。

業者名	質疑書の提出順	付与された抽選番号
A業者	1	0
B業者	3	2
C業者	2	1
D業者	6	3

② 「くじ番号」の合計を同額入札（見積）者数で除し、「余り」を算出する。

業者名	くじ番号	余りの算出 $875 + 269 + 119 + 400 = 1,663$ $1,663 \div 4者 = 415$ (余り・・・ 3)
A業者	875	
B業者	269	
C業者	119	
D業者	400	

③ 落札者（落札候補者）を決定する。

業者名	付与された抽選番号	余り	落札者（落札候補者）の決定
A業者	0	3	—
B業者	2		—
C業者	1		—
D業者	3		落札者（落札候補者）

くじ番号を付す入札（見積）書の記入例

くじ番号

1

1

9

入

- ・「000～999」の任意の3桁の数字を記入すること。
- ・1文字でも記入のない場合や文字の判別がつかない場合は、受付番号の下1桁を連続した3桁として取扱う。（くじ引きの方法 参照）

金 円（消費税抜）

ただし、〇〇の購入

入札保証金 免除

上記のとおり入札します。

本記入例は、物品購入案件の場合の入札書様式となっているが、工事案件の場合でも、くじ番号の記入方法は同様である。

入札年月日 令和 年 月 日

奈良県広域消防組合

管 理 者 様

所 在 地

商号又は名称

入 札 者 名

（代理人名）

印